

技術士業務研究会／平成28年10月度例会案内

☆協 力：日本技術士会近畿本部

☆開催日時：平成28年10月14日（金） 18:30～21:00

☆開催場所：大阪科学技術センタービル601号室

☆開会のご挨拶：業務研究会 部会長 技術士（機械） 中塚 勉 氏

☆講 演

(18:35～20:05)

【ご講演タイトル】：『英国の Chartered Engineer について』

公益財団法人 応用科学研究所 理事 CEng, Eur Ing, PhD 秋山 雅義 氏

【ご講演概要】

英国及び英連邦の技術者資格である Chartered Engineer (CEng) についてお話しします。自己紹介の後、先ず CEng の資格を取る手順を概説した後に、“Chartered” という文言の意味を説明し、CEng の歴史を振り返ります。続いて、海外の技術者資格として日本では名の通っているアメリカ合衆国の Professional Engineer (PE) と CEng との関係を述べ、日本における CEng に対する企業の反応の変遷と現在の関心について触れ、既に PE 取得を技術者に督励している企業の動きの一端を紹介します。最後に、若い技術者への期待を表明し、併せて技術や技術者を核とした今後の日英の学協会間の連携と交流について展望します。

☆業務研究会連絡事項など

☆閉会挨拶：技術士業務研究会例会担当幹事 技術士（化学） 上田 修史

☆例会後、珉珉にて講師を囲んで懇談会を開催予定、有志の方々のご参加を願います。

以上

◇定 員：先着順にて30名
◇参加費：業務研究会会員は無料、業務研究会会員外は1,000円
◇申 込：2016年10月11日（火）までに下記へお願いします。
懇親会への参加・不参加も合わせてご連絡下さい。
業務研 HP <https://sites.google.com/site/gyoumuken/>
業務研究会 和田 克利 (gyoumuken@gmail.com)

【講師のご経歴】

秋山 雅義 (あきやま まさよし)

(生年月日) 1950年3月10日 (昭和25年)

(出身地) 兵庫県尼崎市生 (本籍：岡山県)

(学歴) 1962年3月 尼崎市立塚口小学校卒業

1962年4月 私立甲南中学校入学(神戸市東灘区)

1968年3月 私立甲南高等学校卒(芦屋市)

1968年4月 京都大学工学部機械工学科入学

1972年3月 同学科卒業

1972年4月 京都大学大学院工学研究科機械工学専攻修士課程入学

- 1974年3月 同課程修了
- 1980年10月 英国 Wales 大学 Swansea 校 機械工学科博士課程入学
- 1983年1月 同課程修了
- 1983年7月 同大学 PhD
- (職歴) 1974年4月 住友金属工業(株)入社 鹿島製鉄所で3ヶ月の実習勤務後
中央技術研究所加工研究室配属 鋼管製造技術開発担当
担当業務：熱間継目無鋼管圧延機の自動制御、
管内面角張を抑制する孔型と管圧延法の開発
- 1980年8月 英国 Wales 大学 Swansea 校に社費留学
- 1983年2月 帰国 中央技術研究所加工研究室復帰
- 1984年～1986年 鉄鋼短期大学講師 担当講義：圧延 (各年半期)
- 1985年10月 鋼管製造所へ転籍 担当：生産技術
- 1988年4月 総合技術研究所 (中央技術研究所から名称変更) へ転籍
以後、一貫して塑性加工担当(形鋼圧延を除く総ての加工)
- この間 加工研究室長、条鋼開発室長、鋼管鋼材研究部次長、
研究企画部次長、研究主幹、部長研究員、等に任ぜられる
- 2007年12月 住友金属工業(株) 退社
- 2008年1月 国立大学法人 京都工芸繊維大学機械システム工学科教授
- 2015年3月 同校定年退職
- 2015年4月 公益財団法人 応用科学研究所 理事
～現在に至る
- (現職) 公益財団法人 応用科学研究所 理事
- (専門分野) 塑性加工、トライボロジー、数値解析(有限要素法)
- (所属学協会) 一般社団法人日本塑性加工学会 正会員、
一般社団法人日本鉄鋼協会 正会員、
一般社団法人日本トライボロジー学会 正会員、
英国 Institute of Materials, Minerals and Mining (IOM3) Fellow、
英国 Institution of Mechanical Engineers (IMechE) Fellow
- (資格) CEng, Eur Ing, 運転免許(普通、中型・大型自動二輪)、玉掛技能士
- (趣味) 読書、植物を育てること、料理、お酒、時々海釣り
公益財団法人 全日本空手道連盟公認三段 (兵庫県公認審判員)

以上